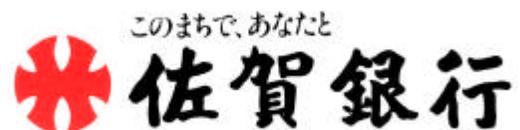


さぎん 会社説明資料



平成19年11月

本編は平成19年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について
計数に関する部分を平成19年9月期の計数に置き換えたものです。



目次

1. 平成19年度中間期損益の状況	...	3
2. 平成19年度中間期末資産・負債・純資産の状況	...	4
3. 不良債権比率	...	5
4. 不良債権の処理	...	6
5. 繰延税金資産	...	7
6. 自己資本比率	...	8
7. 有価証券の状況	...	9
8-1. 貸出金の状況(平残)全体、佐賀・長崎	...	10
8-2. 貸出金の状況(平残)福岡、東京	...	11
9-1. 貸出金の状況(利収)全体、佐賀・長崎	...	12
9-2. 貸出金の状況(利収)福岡、東京	...	13
10. 役務取引等利益の状況	...	14

1.平成19年度中間期損益の状況

平成18年度中間期は貸倒引当金が取崩であったため、取崩額が特別利益に計上されたが、この表では、それを各引当金の欄に組み戻して計上してあり、したがって平成18年度中間期の経常利益等は正規のP/Lの金額とは異なっている。

科 目	番号	平成18年度中間期	平成19年度中間期	増 減	(平成18年度中間期) (平成19年度中間期)
貸出金利息	1	12,890	13,470	+580	貸出金平残 1,200,068 1,203,157 +3,089 (+0.25%) 平成18年10月以降バブル等処理額 24,834 国内貸出金利回り 2.142% 2.232% +0.090%ポイント
有価証券利息・配当金	2	3,753	3,977	+224	有価証券平残 523,390 559,233 +35,843 うち短期社債 +27,889 有価証券利回り 1.430% 1.418% 0.012%ポイント
その他の資金運用収益	3	111	233	+122	
(資金運用収益小計)	4	(16,755)	(17,680)	(+925)	
預金利息	5	524	1,942	+1,418	預金平残 1,715,575 1,736,861 +21,286 (+1.24%) 他に個人預り資産(公共債、投資信託、個人年金保険)の各9月末の残高と増加額 161,679 189,813 +28,134 国内預金利回り 0.059% 0.221% +0.162%ポイント
その他の資金調達費用	6	1,062	918	144	
(資金調達費用小計)	7	(1,587)	(2,860)	(+1,273)	
資金利益	8	15,167	14,819	348	
役務取引等利益	9	1,966	1,965	1	
その他の業務利益	10	734	610	124	
うち債券5勘定戻	11	298	86	212	
コア業務粗利益	12	17,570	17,309	261	「コア」は一般貸倒引当金繰入前、債券5勘定戻調整後の意味
経費	13	12,790	12,364	426	426のうち265は税金の上期下期按分計上による(前年は上期一括計上)
コア業務純益	14	4,779	4,945	+166	
一般貸倒引当金繰入額	15	924 (取崩)	395	+1,319	
不良債権処理額	16	394 (取崩)	1,164	+1,558	番号16の「取崩」は不良債権処理額中個別貸倒引当金が取崩となっているという意味
(クレジットコスト小計)	17	(1,318)	(1,560)	(+2,878)	
その他の臨時損益	18	69	541	610	541のうち株式等償却 565
経常利益	19	6,465	2,929	3,536	
特別損益	20	71	1,037	966	1,037のうち減損損失 879
税引前中間純利益	21	6,393	1,891	4,502	
法人税等・法人税等調整額	22	2,554	1,728	4,282	評価性引当額から繰延税金資産に移行した金額 2,041
中間純利益	23	3,839	3,620	219	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

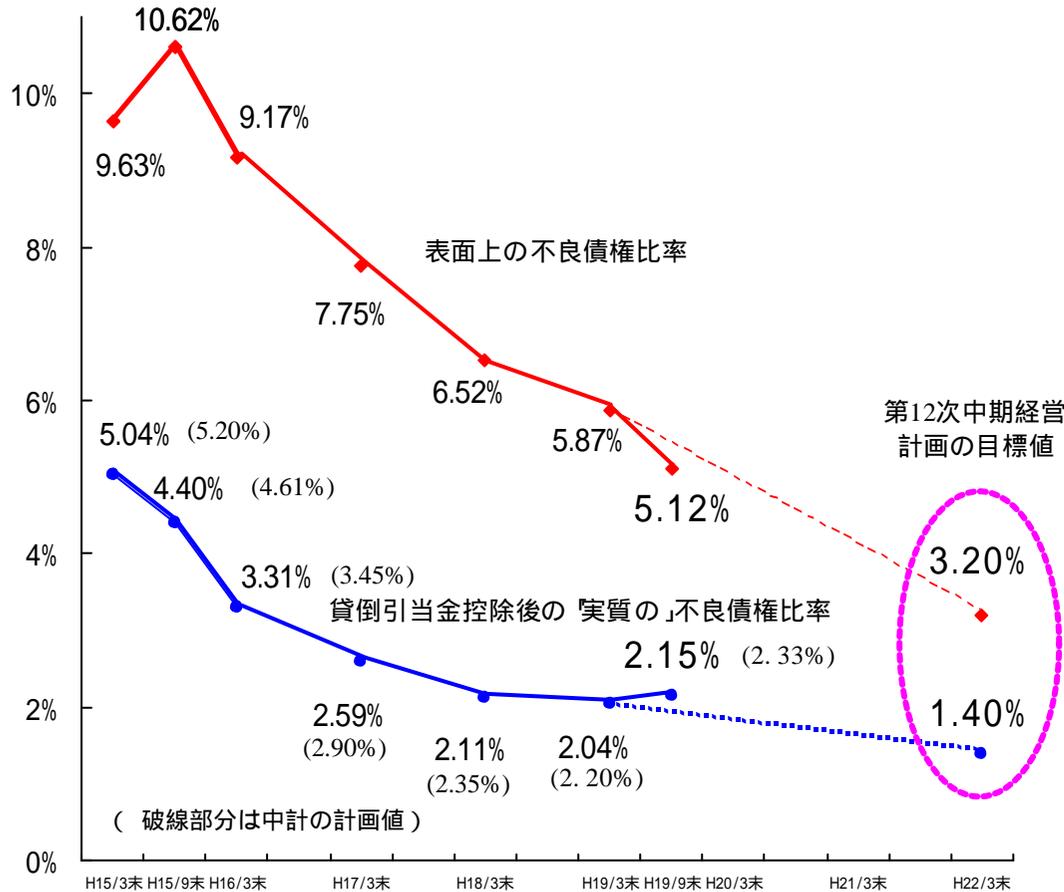
2.平成19年度中間期末資産・負債・純資産の状況

科 目	番号	平成18年9月末	平成19年9月末	増 減	主 な 増 減 要 因
(資産の部)					
現金預け金	1	42,860	41,758	1,102	
特定取引資産	2	70,568	65,372	5,196	
有価証券	3	499,922	531,123	+31,201	→ 国内債券 +45,888 (うち短期社債 +23,993) 外国債券 11,988 株 式 3,897 その他証券 +1,198
貸出金	4	1,209,442	1,205,541	3,901	
コールローン等	5	69,801	51,292	18,509	
外国為替等	6	7,786	8,393	+607	→ ハルク等処理額 24,834
固定資産等	7	30,370	31,831	+1,461	
繰延税金資産	8	9,403	11,956	+2,553	→ 評価性引当額から繰延税金資産に移行した金額 2,041
支払承諾見返	9	22,301	17,770	4,531	
貸倒引当金	10	50,769	38,899	+11,870	
合 計	11	1,911,688	1,926,140	+14,452	
(負債の部)					
預 金	12	1,699,869	1,730,276	+30,407	→ うち個人預金の増加+30,887 別途、個人預り資産残高増加 +28,134 (公共債 投資信託 個人年金保険)
譲渡性預金	13	47,842	40,044	7,798	
コールマネー	14	5,337	4,607	730	
借 用 金	15	18,106	21,052	+2,946	
外国為替等	16	15,758	8,367	7,391	
賞与引当金等	17	13,597	12,988	609	
役員退職慰労引当金	18	-	569	+569	
睡眠預金払戻引当金	19	-	110	+110	
再評価に係る繰延税金負債	20	6,902	6,538	364	
支払承諾	21	22,301	17,770	4,531	
合 計	22	1,829,715	1,842,325	+12,610	
純 資 産 の 部 合 計	23	81,972	83,815	+1,843	
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	24	1,911,688	1,926,140	+14,452	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

3.不良債権比率

1.不良債権比率(金融再生法開示債権比率)の推移



貸倒引当金控除後の不良債権比率を計算する場合、不良債権の額から個別貸倒引当金の額と要管理先に対する一般貸倒引当金の額を控除している。これは、要管理先の要管理債権のみに対する一般貸倒引当金の額が不明のためであるが、念のため、要管理先債権に対する一般貸倒引当金を「要管理債権の額 / 要管理先債権の額」で按分したものを「要管理債権に対する一般貸倒引当金」と見た場合の数値を ()書きで表示した。

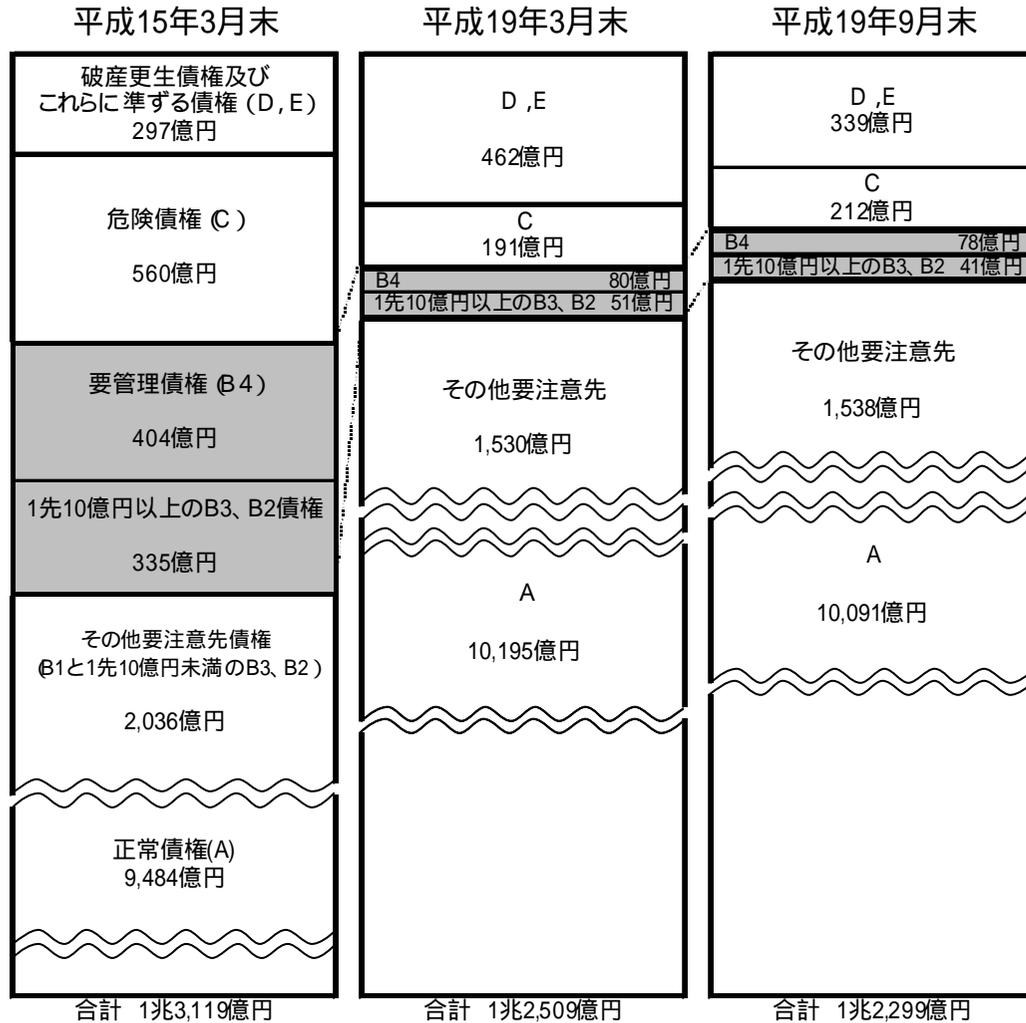
2.不良債権比率の地銀比較

銀行名	「表面上の」不良債権比率 貸倒引当金控除前		「実質の」不良債権比率 貸倒引当金控除後		
	比率	順位	比率	順位	
A行	2.40	1	1.48	1	
B行	3.48	15	1.50	2	
C行	3.03	5	1.61	3	
D行	3.30	8	1.81	4	
E行	2.49	2	1.88	5	
F行	3.22	7	1.88	6	
G行	3.51	16	1.90	7	
H行	3.42	12	1.97	8	
行	4.48	32	1.99	9	
J行	3.38	11	2.00	10	
佐賀	H19/3末	5.87	46	2.04	11
	H19/9末	5.12	40 (注)	2.15	12 (注)

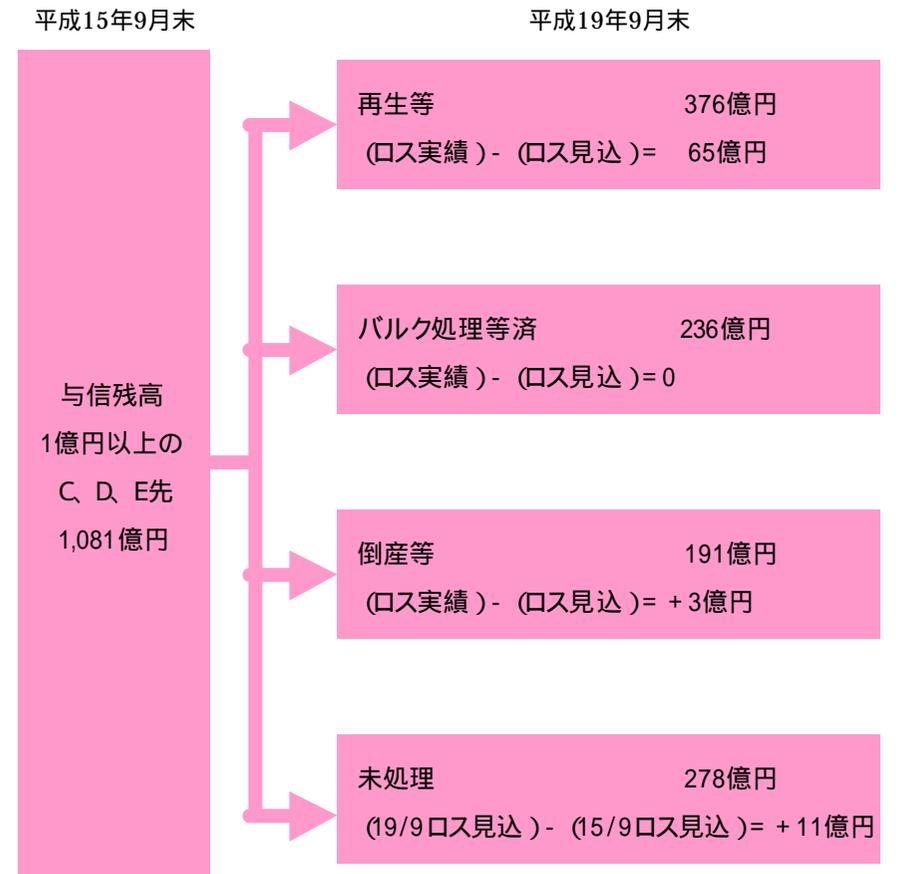
上場地銀59行を対象にH19/3末決算説明資料より作成。
部分直接償却前。
佐賀のH19/9末の順位は、仮にH19/3末の佐賀の比率がH19/9末の比率であったとした場合の順位。

4.不良債権の処理

1.資産の良質化すすむ

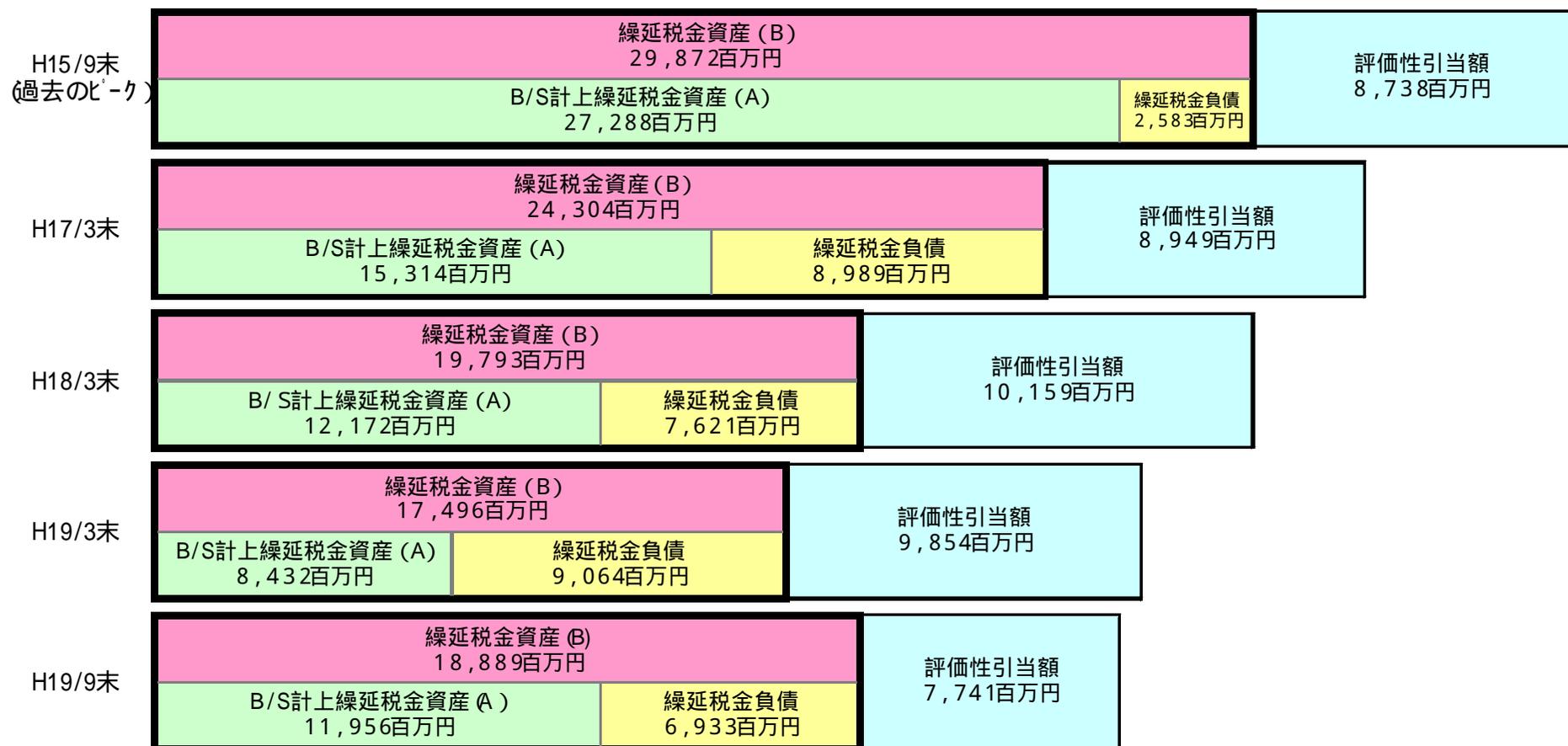


2.両建方式での二次ロス



「ロス見込」は平成15年9月末の保全不足額である。当時バルク等処理をしていた場合、買い叩きによって、ロスが見込より大きくなっていった可能性がある。

5.繰延税金資産



中核的資本に占める繰延税金資産の割合

	H15/9末	H17/3末	H18/3末	H19/3末	H19/9末	今中計目標 (平成22年3月末)
Tier 中 (A) の比率	56.25%	28.95%	21.32%	13.79%	18.44%	1.00%
Tier 中 (B) の比率	61.58%	45.94%	34.68%	28.63%	29.14%	13.90%

過去の比-ク

6.自己資本比率

	(参考)平成18年9月末 実績値(旧基準)	平成19年3月末 実績値	平成19年9月末	
			実績値	19年3月末比
(1)自己資本比率	9.63 %	9.76 %	10.14 %	0.38 %
(2)Tier	604	611	648	37
(Tier 比率)	(6.40 %)	(6.29 %)	(6.70 %)	(0.41 %)
うち繰延税金資産	176	174	188	14
(3)Tier	305	337	332	5
(イ)再評価差額金	71	71	67	4
(ロ)貸倒引当金	59	60	60	0
(ハ)劣後借入金	175	205	205	-
(ニ)有価証券含み益	-	-	-	-
(4)自己資本(2)+(3)	910	948	980	32
(5)リスクアセット	9,445	9,707	9,665	42
(6)繰延税金資産圧縮額	(3) 21	(4) 22	(5) 13	35
(7)評価性引当額	101	98	77	21

1: 単位は億円。億円未満は切り捨てて表示しております。

2: 当行は国内基準採用行。各計数は単体ベースの数値。

3: H18/3とH18/9の繰延税金資産額比較。

4: H18/3とH19/3の繰延税金資産額比較。

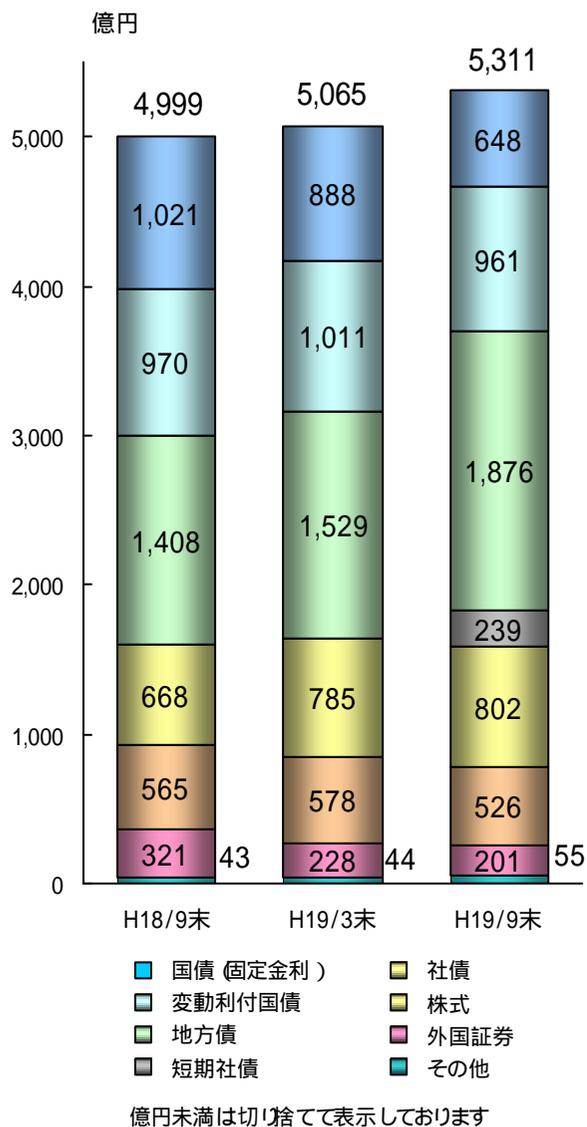
5: H19/3とH19/9の繰延税金資産額比較。

6: 平成18年9月末値は旧基準にて算出。

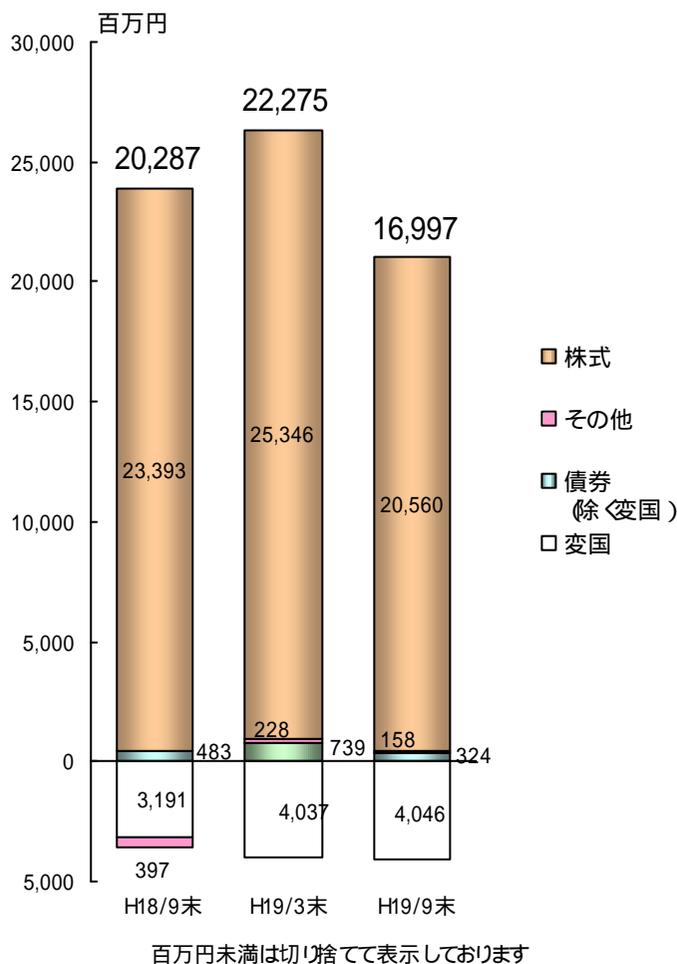
7: 平成19年3月末以降は新基準にて算出。信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナルリスクについては「基礎的手法」を採用。

7. 有価証券の状況

1. 有価証券残高 (BS計上額)



2. 『その他有価証券』の評価損益



3. 国内債券の残存期間別残高 (H19/9末)

単位: 億円

残存期間	残高
～ 1年以内	1,739
1年超 ～ 3年以内	758
3年超 ～ 5年以内	889
5年超 ～ 7年以内	766
7年超 ～ 10年以内	410
10年超 ～	1
合計	4,565

「1年以内」には変動利付債を含む
億円未満は切り捨てて表示しております

平均残存期間

	H18/9末	H19/3末	H19/9末
平均残存期間	2.82年	2.95年	3.14年

変動利付国債は0.5年として算出

4. 国内債券ポートフォリオの金利感応度

	H18/9末	H19/3末	H19/9末
10BPV	939	1,073	1,175

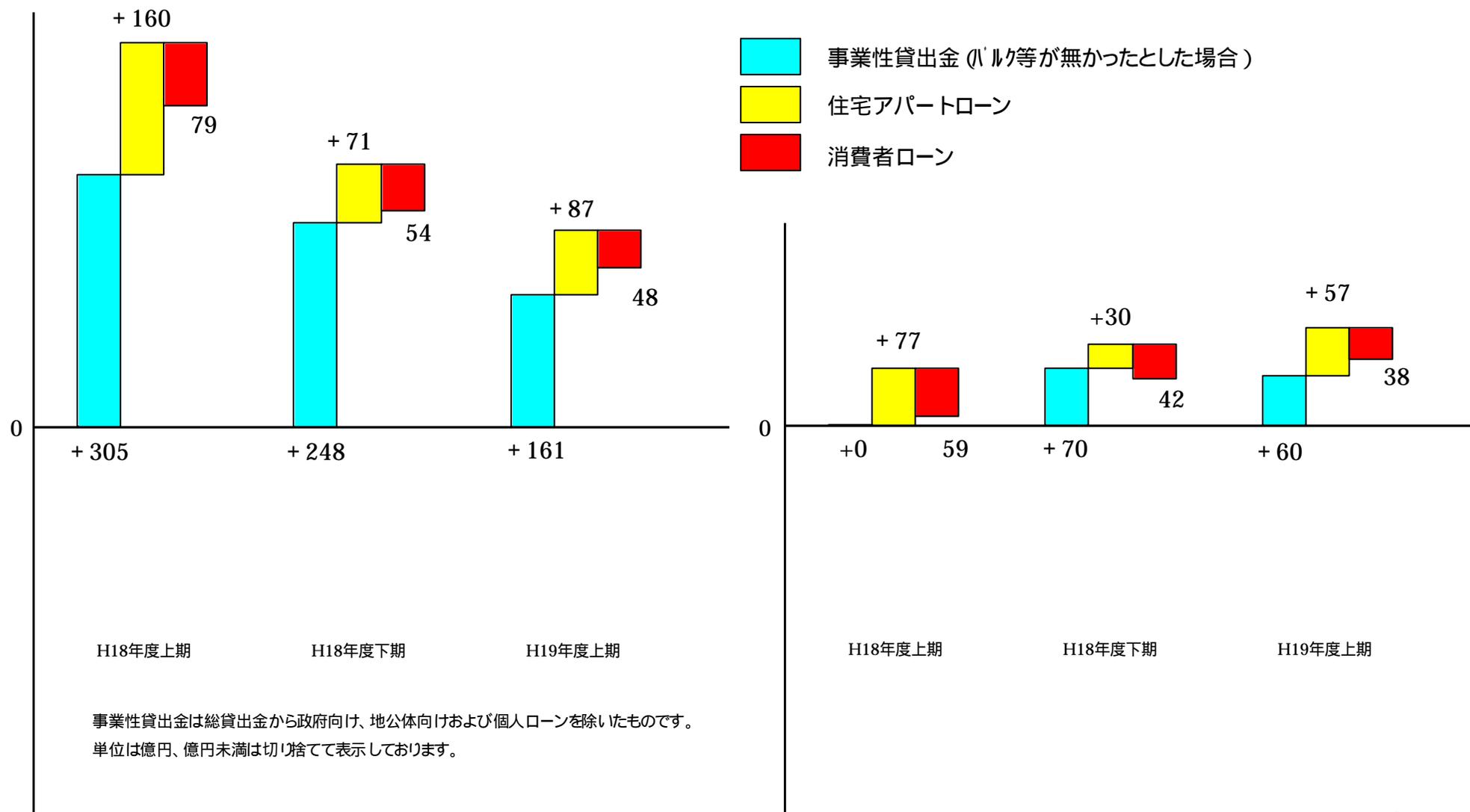
(参考)
その時の5年国債金利 1.12% 1.18% 1.19%

10BPV:金利0.1%変動に伴う評価損益の変動額
単位:百万円

8 - 1 .貸出金の状況 (平残) 期中平残の前年同期比増減 (全体、佐賀・長崎)

全 体

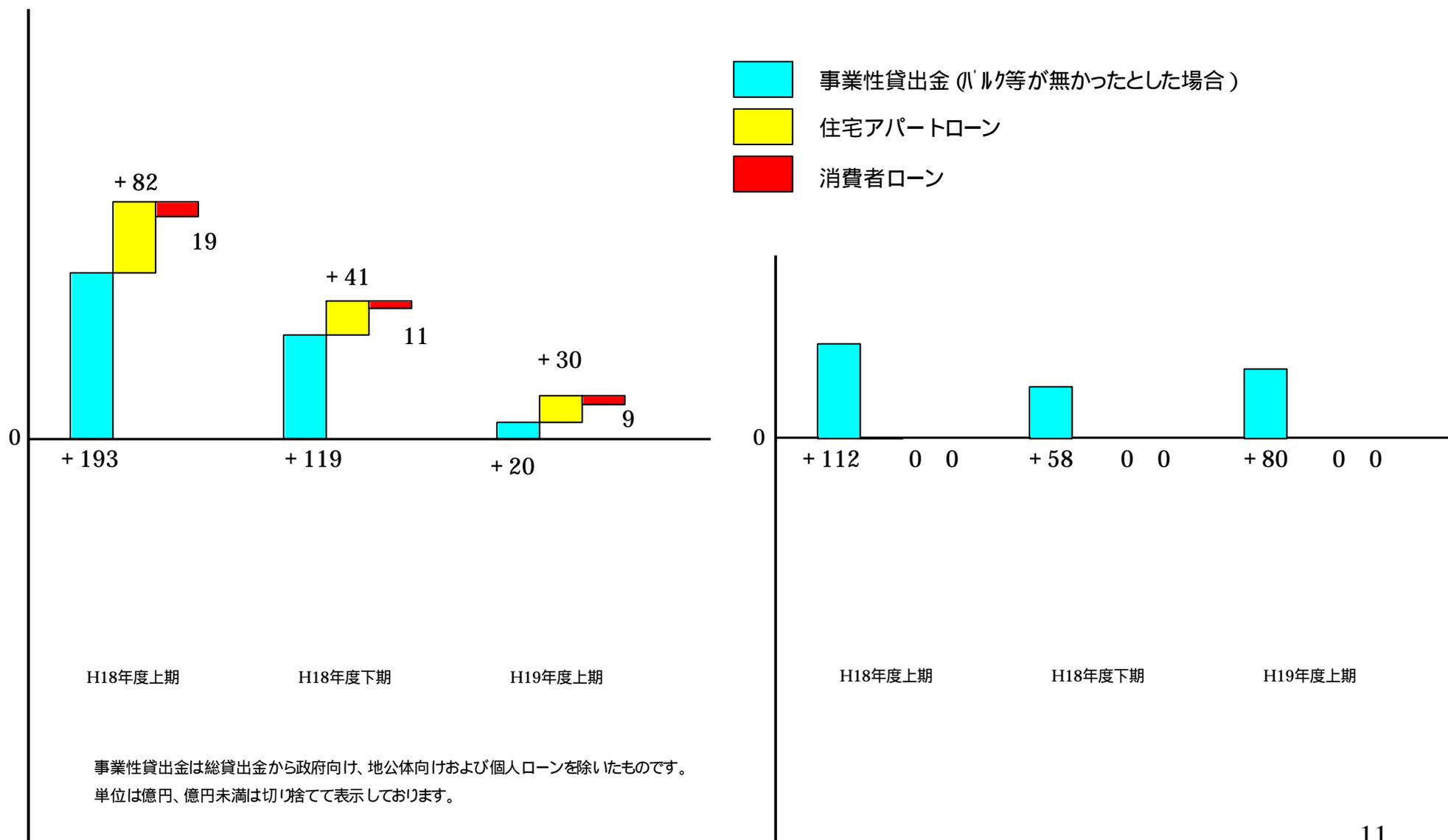
佐賀・長崎



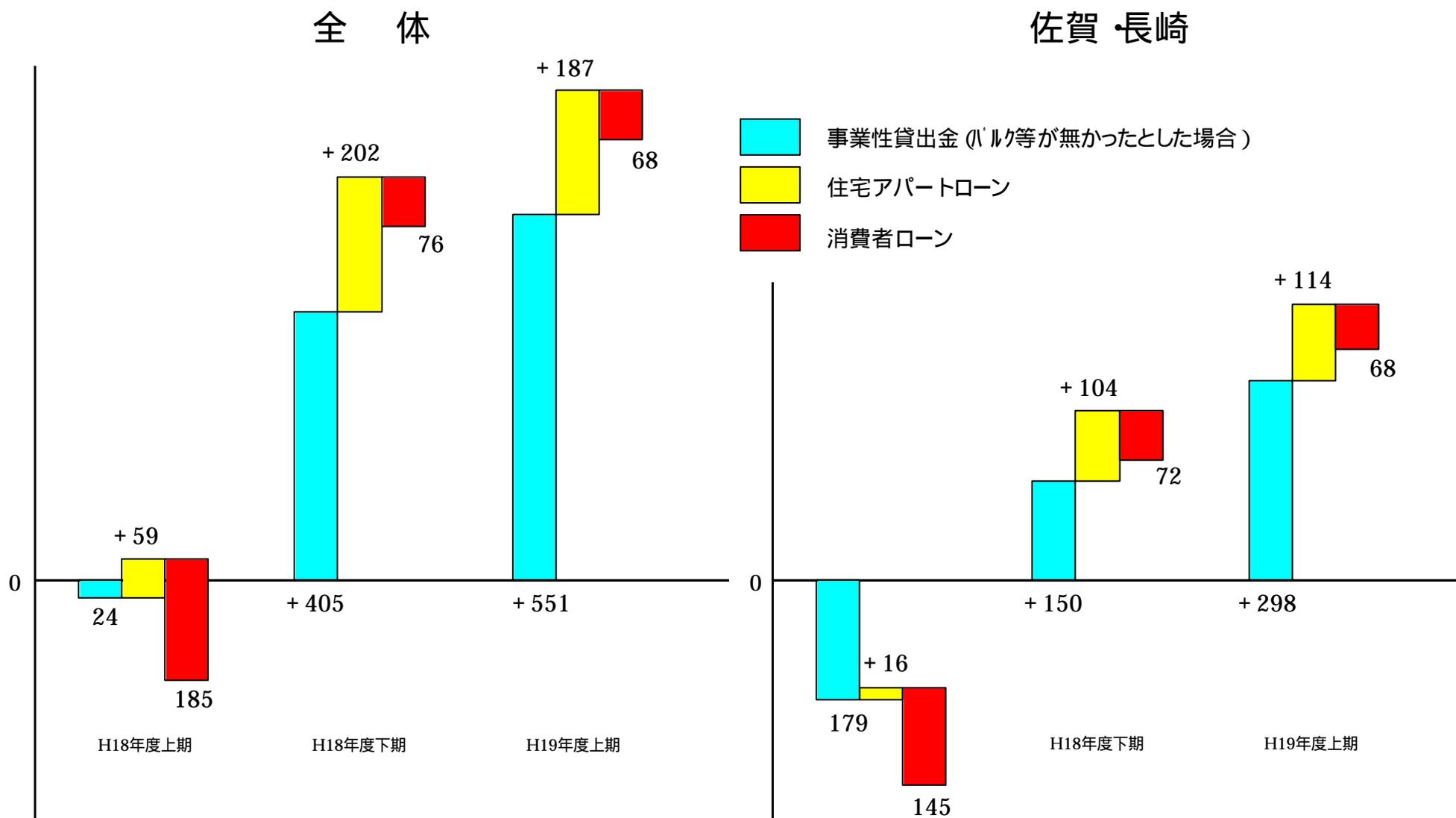
8 - 2 . 貸出金の状況 (平残) 期中平残の前年同期比増減 (福岡、東京)

福岡

東京

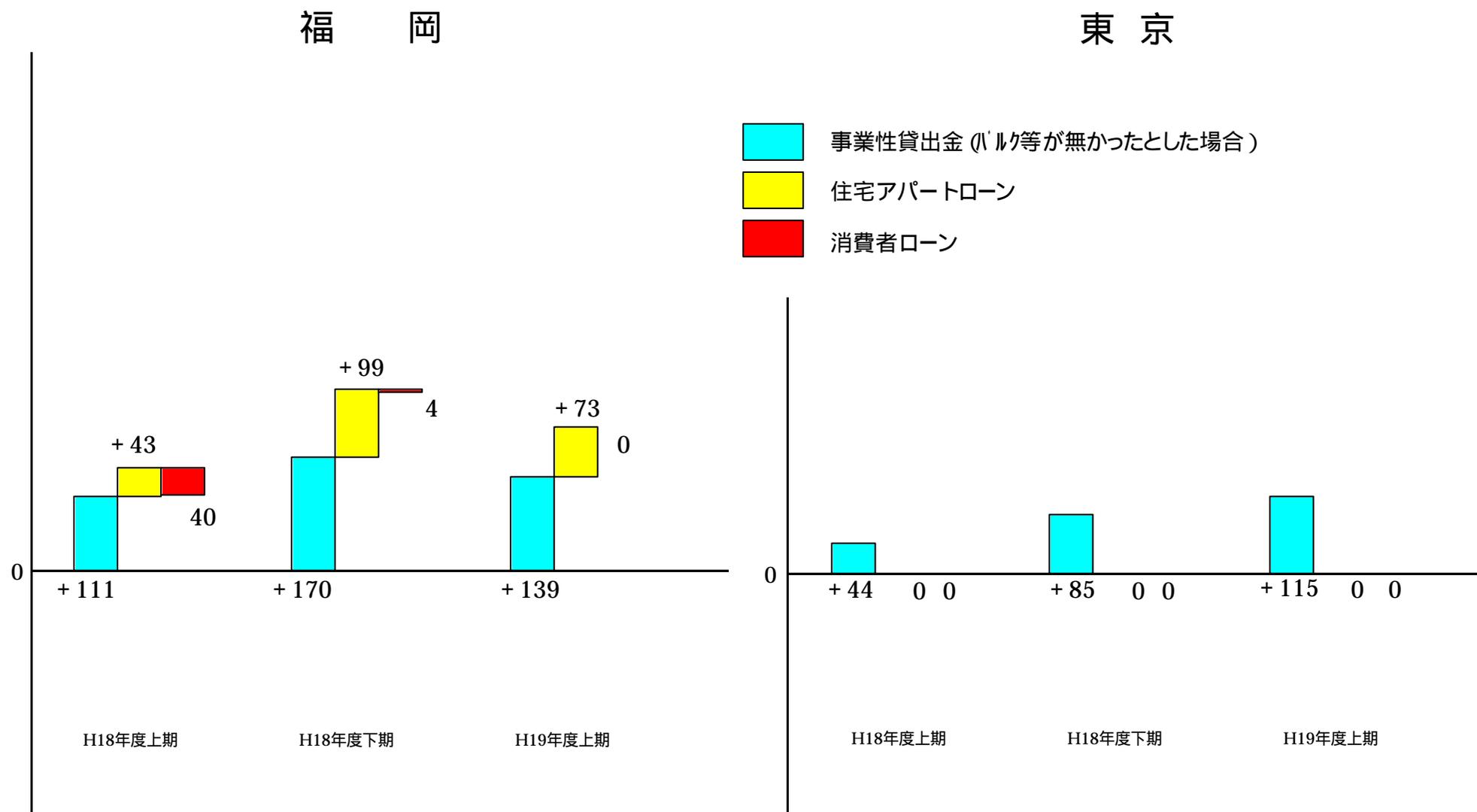


9 - 1 .貸出金の状況 (利収) 期中利収の前年同期比増減 (全体、佐賀・長崎)



事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

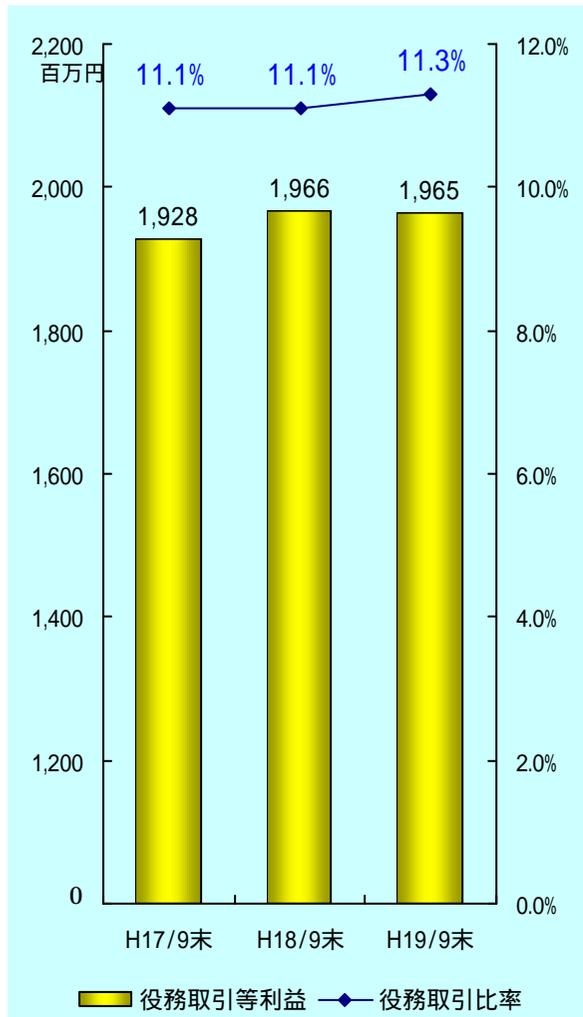
9 - 2 . 貸出金の状況 (利収) 期中利収の前年同期比増減 (福岡、東京)



事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。
 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

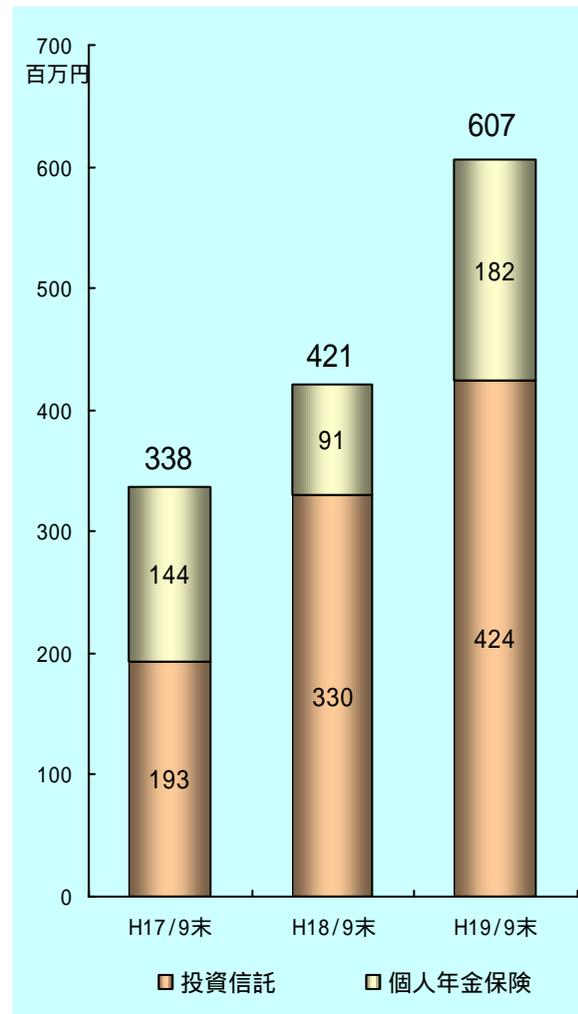
10. 役務取引等利益の状況

1. 役務取引等利益の推移



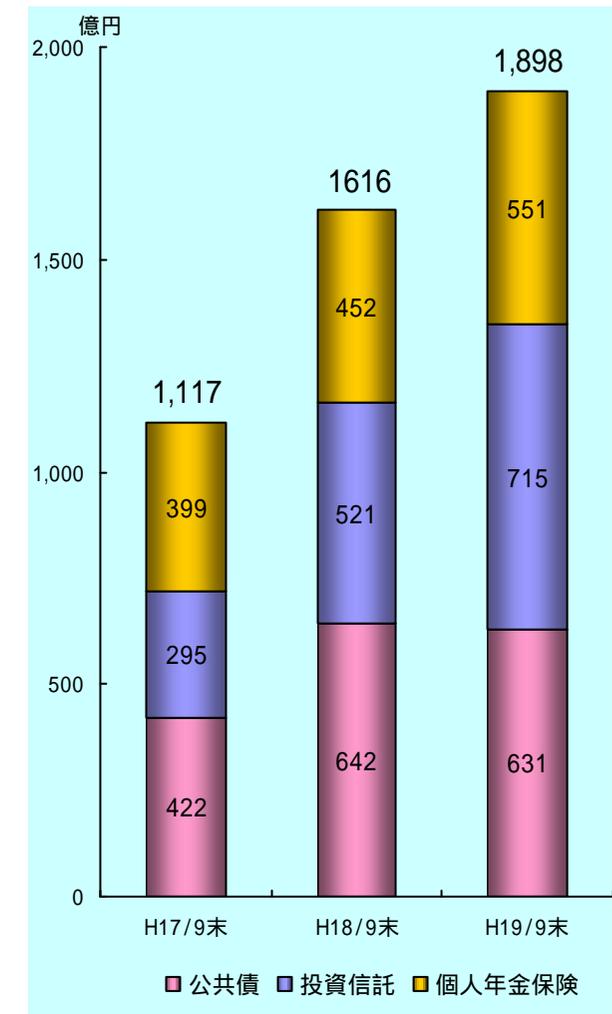
役務取引比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益
百万円未満は切り捨てて表示しております

2. 投資信託・個人年金保険関係手数料



百万円未満は切り捨てて表示しております

3. 個人預り資産残高の推移



億円未満は切り捨てて表示しております

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
総合企画部
担当 森田、山崎

TEL 0952 - 25 - 4555

本資料は当行の財務状況に関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。